

松風平和

令和4年度
那覇市立松島中学校
学校便り [No. 6]
令和4年5月12日(木)
発行責任者 校長 喜屋武浩司

「日曜授業参観、学校説明会、学級・学年懇談会、ありがとうございました！」

去る5月8日(日)、今年度はじめての日曜授業参観を実施しました。コロナ禍の中、一階受付での健康チェックシートの提出や手指消毒を徹底し、受付名簿から1年136名、2年87名、3年82名、合計305名(全校生徒612名)の保護者に日頃の授業の様子を見ていただきました。

3時間目の授業と並行して、体育館では学校説明会を開き、100名以上の保護者が参加されました。今年から改訂された本校学校教育目標などの学校経営や学習評価についての説明、進路状況や推薦入試制度について説明を行いました。

その後、各学級での学級懇談会や学級PTA役員による学年懇談会が行われ、和気あいあいとした雰囲気、自己紹介や今後の活動について話し合いされました。

ご参加いただいた保護者の皆様、ありがとうございます。なお、学校説明会などの資料を生徒に配布しておりますので、お子さまにご確認下さい。



「5月15日は復帰50周年の日！」

沖縄は2022年5月15日、日本本土に復帰して50年を迎えます。戦後、27年間にわたって沖縄は日本本土から切り離され、米国の統治下に置かれました。米国統治下の沖縄では日本国憲法が適用されず、沖縄の人たちの基本的な人権は著しく抑圧されました。本校が琉球政府立松島中学校として開校して10年後、1972年5月15日に沖縄は日本に復帰したのです。

校長先生は1962年生まれですので、復帰の年はちょうど10歳(小学校4年生)でした。日本に復帰するということの実感はあまりありませんでしたが、小中学生には「ニコニコマーク」(右のイラスト)の付いた下敷きなどの文房具が配られました。一番記憶に残っているのが、米軍統治下で使われていたアメリカドル(紙幣)やセント(小銭)が、日本円に変わったことです。駄菓子屋などに行っても、〇円という表示を見て、高いのか安いのかすぐには理解できませんでした。



復帰の6年後、1978年7月30日、自動車の右側通行(アメリカ式)から左側通行(現在の日本式)に変わりました。その時は高校一年生でしたので、朝の6時に歩道橋に上って歴史的瞬間を見たのを今でも忘れられません。

沖縄は日本に復帰しましたが、依然として沖縄に多くの米軍基地が残り、飛行機などの騒音や事件・事故など様々な問題に悩まされています。平和で安心して過ごせる、もっともっと素敵な沖縄を目指して、世界や日本、自分の身の回りで起きていることに興味を持ちましょう。